

ベ反戦六月行動をクラス・サークルの創意ある行動で埋めつくし 6.15全関西集会の大衆的成功を!

パリへ公使を民主主義的講和のカーサに
侵略者ジョーソン、侵略加担者佐藤に
自撃を。

一週間に亘る中執意を規定していたもの。それはヤトナムであった。
孤立の深まりの中、遂にパリ公使に宛じた帝國主義者ジョーソンは、自己に
有利な解決をめざして最後入札を続けている。ヤトナムでは解放戦線と
米軍の攻勢が繰り出し、米軍は一步一步進みつめられている。世界の言論も
大衆も支持していない。

ヤトナムの民主主義的講和——それは米爆の既時全面停止と米軍の撤退以
外にありえず、しかもそのヨいの展望は明るく前向きにしている。侵略者佐
藤も新機を深めている。ヤトナムファイッシャの戦時政策に続き、今度は、
原爆スゴロピオン連戦時件と相次ぐ原爆攻撃は、寄港地を破壊し、佐ト
を根拠から根絶する客観的根拠をいかに与えている。

極左戦術を拒否し、ヤトナム反戦、行方不
内閣打倒の主張が声を6月行動月間
に結集しよう。

か、この時期のヨいは、たぬ反戦平和の力入線結果を現実の日程に上せて
いる。この時にミタ「全学連」及びその盟系たる現出教員会派（リ支所）受入
の「左戦術」ヘリロッキズムへの転換である。これは極左戦術は極めて有害で
ある。今、学友、国民すべての内にある反戦・平和の言論を盛りおこし、ジ
ョーソン、佐藤連戦の大衆的ヨいを常態にすることが必要であり、そのため
には、極左戦術を断固として批判し、あらゆる所から追放しなければならな
い。

6月行動月間——市大をクラス・サー
クル・サークルの創意ある行動で
埋めつくし、6/15全関西集会に
トナム集会に集中しよう。

極めて重要なことに市大においても、全学友の統一を阻む方向が4日3年
の経緯で、現出教員会派（リ支所）受入をへるものによって提せられた。
「4・26失敗スト」なる歴史的「政治主義」的「方針」は、その主眼を、
とクラス引き回し主義によって惨めな失敗に終った。た、それが市大の運動の
め、いふ学生運動全体に与えた損害は回り知れないものがある。

われわれは批判的旅をへる「ヤトナム反戦六月行動」は単に中絶の行動提
起のみに終るのではなく、クラス単位、サークルの教員をも含んだ討論、クラス単位で
の街頭演説の署名、ピラマキ、デモ（学内）モビ化、全学運動をつ
くりあげていかなければならぬ。

現出教員会派（リ支所）受入の4・26「失敗スト」方針に反らる方針の
動向に加え、セクト的利権を追求するあまり、客観的には南自派の放棄は出
平社がされぬ。6月4日（金5日）関西自治会をもちろつ。

燃え広がる反戦の炎! 起ちがれ大学自治擁護のために!